

国際政治経済学コース(政治学研究科・経済学研究科) 教育と研究の理念

政治と経済の相互連関を踏まえて実行可能な政策を構想できる力を育てる

政治経済学部は、「政治と経済の分ちがたい相互連関を国際的な視野において分析・理解しつつ、規範的な観点にもとづき、実行可能な政策を検討・構想しうる力を育てる」という教育理念にもとづいて、2004年4月に国際政治経済学科を開設し、2008年3月には最初の卒業生139名を送り出しました。大学院政治学研究科・大学院経済学研究科は、前述の教育理念をさらに発展させ、高度の教育・研究の機会を提供するために、2008年4月に国際政治経済学コースを設置しました。



永田良 経済学研究科長



佐藤正志 政治学研究科長

国際政治経済学は、他の大学院にはほとんど類例のない先進的な学問分野であり、本コースでは、この分野に関わる政治経済学術院の優位性を生かし、先端的教育・研究を推進します。

本コースは、政治学研究科および経済学研究科のそれぞれの修士課程に設置するため、修士課程を修了した学生には、それぞれの研究科の博士後期課程に進学し、自らの研究を深めていく途が開かれます。

本コースの研究指導・演習を合同で実施し、講義科目(基礎科目・コア科目)を政治学研究科と経済学研究科で共通設置します。

日本がそして世界が期待する国際政治経済学コース

政治経済学術院では2003年に『開かれた政治経済学の構築』をテーマとするプロジェクト構想が文部科学省の推進する世界的研究拠点としての21世紀COEプログラム(COE:Center of Excellence)の1つに採択され重点支援を得るに至りました。以来、このプロジェクトはスティグリッツ博士(ノーベル経済学賞受賞者)を始め内外の著名研究者や世界各国の大学・研究機関から多くの賛同と協力を得て政治学と経済学の真の有機的連携を目指し有意義な研究・教育を積み重ねてきました。本国際政治経済学コースはその集大成を世に問う実践の場として発足したものです。その意味で日本のみならず世界からも大きな期待が寄せられているコースであるといえます。そのような期待に応えるべく本コースでは21世紀COEプログラムの成果にさらに国際関係という軸を加えアジアと日本を中心とした地域の政治経済分析を充実させる試みも行っています。この点は国内のみならず外国からの留学生にも大きな魅力となるはずで、それに伴い留学生に対する十分な研究指導が行えるよう英語科目の整備も行っています。本コースは国際・政治・経済を三位一体として学べるシステムになっていますのでその修得により社会に出て活躍できる場は多様です。そして習得した能力を差別化するために本コースの修士修了者には国際政治経済学修士の学位が与えられます。一方、さらに博士課程に進学を希望するものは政治学研究科と経済学研究科のどちらでも選択することができます。国際政治経済学という分野は学際性を活かした従来にない大胆な見方や方法が躍動する分野です。この若い分野に一人でも多くの方がチャレンジしてくれることを期待します。

政治経済学術院教授

深川 由起子



政治学の世界では1980年代にマクロな経済現象と政治の相互作用への関心が高まり、政治経済学と呼ばれる研究が急速に拡大してきました。他方、経済学の世界でも政治現象を経済学的手法を用いて分析する政治経済学が発展してきました。しかし、この二つの政治経済学は、十分な交流をしてくれませんでした。国際政治経済学コースでは、政治学と経済学の技法を専門的に学ぶことによって真の政治経済学を構築することを目指します。政治経済学のフロンティアがここ早稲田の社に生まれます。

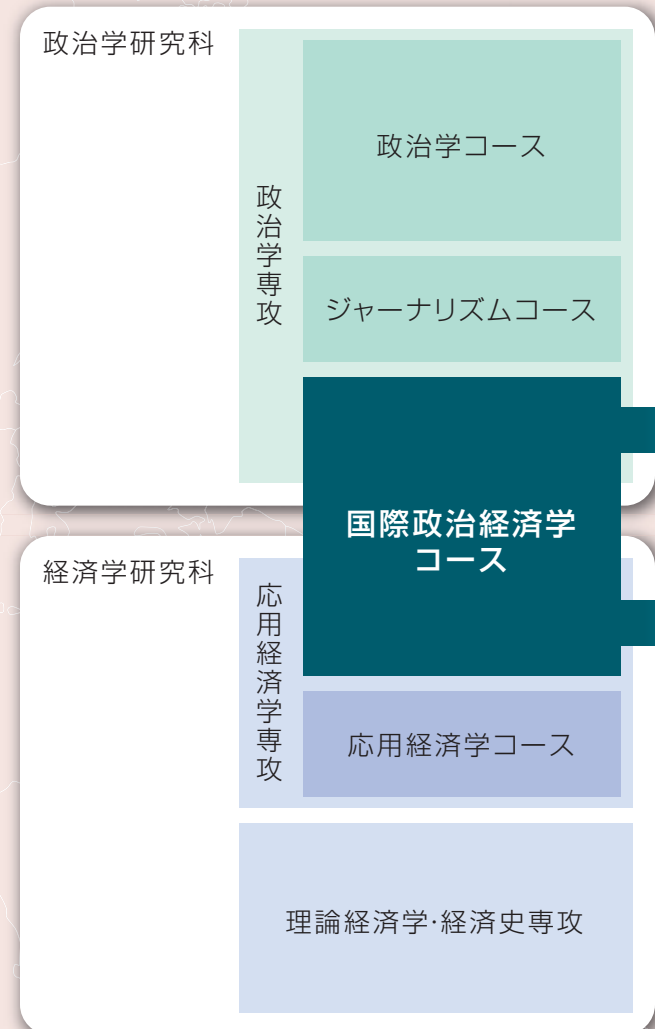
政治経済学術院教授

久米 郁男



国際政治経済学コースは政治と経済の出会いを国際社会に求めています。イノベーションとグローバル化が織り成す現在の大構造転換は既存体系の中だけでは捉えられません。また、環境や貧困といった競争のひずみや、多様な価値観の衝突は、何を良しとするのか、公共哲学にも大きな問いを投げかけています。新しい「現実」を見つめる学問実験の世界に自ら飛び込み、積極的にキャリア形成を図る、世界に志のある方を歓迎いたします。

本コースの構成



一修士(国際政治経済学)学位の取得要件一

- ・下記1~3の各科目群の所定単位を修得すること。
- ・合計32単位以上の修了算入科目を修得すること。
- ・修士論文の合格。

共通設置科目

1. 研究指導・演習 (8単位)

各自の研究テーマに沿った演習形式による少人数の研究指導ならびに論文指導

2. 基礎科目 (必修8単位+a)

本コースの学習に必要な不可欠な両研究科の必修科目ならびにそれに準ずる必修科目

3. コア科目 (12単位以上)

本コースを構成している中心科目。修士論文等の研究課題に直結する研究領域に対応

【研究指導】

国際政治経済学コースの研究指導は、政治学研究科と経済学研究科の両研究科による合同研究指導を実施します。

【演習科目】

科目名	担当教員	科目名	担当教員
国際経済論演習	清野 一治	現代日本政治分析演習	久米 郁男
国際経済論演習	秋葉 弘哉	現代政治分析演習	河野 勝
国際経済論演習	石井 安憲	現代政治理論演習	谷澤 正嗣
数量経済政策演習	貞廣 彰	国際関係演習	都丸 潤子
政治経済学方法論演習	清水 和巳	国際政治演習	中村 英俊
経済政策理論演習	鈴木興太郎	比較政治演習	伊東 孝之
経済政策理論演習	松本 保美	国際機構行政演習	福田 耕治
開発経済論演習	深川由起子	国際政治経済学(政治)演習	(未定)
環境経済学演習	栗山 浩一	国際政治経済学(経済)演習	(未定)
農業経済学演習	堀口 健治		

【共通基礎科目】

科目名	科目名
政治学研究方法(経験)	政治学英語文献研究
政治学研究方法(規範)	政治学フランス語文献研究
ミクロ経済学I	政治学ドイツ語文献研究
ミクロ経済学I(英)	政治学スペイン語文献研究
マクロ経済学I	政治学中国語文献研究
マクロ経済学I(英)	経済数学I(解析学演習)
	経済数学II(積分論)

【コア科目】

クラスター	科目名	クラスター	科目名
実験政治経済学	政治行動論	地域の政治経済研究	中国研究
	政治経済学		朝鮮半島研究
	政治経済学方法論		ロシア研究
	国際政治経済学		インド研究
国際政治経済学	国際政治学概説		東南アジア研究
	国際関係		現代日本の政治過程
	比較経済制度分析		日本政治史
	国際公共経済政策		日本政治思想史
	国際経済論		日本経済分析入門
公共政策の政治経済学	現代政治理論		経済学特論
	国際行政学	国際経済論特論	
	公共政策	開発経済論特論	
公共政策の政治経済学	経済政策理論	数量経済政策特論	
	数量経済政策	環境経済学特論	
	農業経済学	農業経済学特論	
	環境経済学	政治経済学方法論	

※科目の休開講状況は年度により若干異なります。